あいあいつうしん

No.５５１
2024（令和６）
３．１５

編集 京都ライトハウス
視覚支援 あいあい教室
TEL:075-462-4462（代表）
075-320-4038（放ﾃﾞｲ）
FAX:075-462-4464（代表）
aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

「今日も寒いね」と子どもたちと話していた冬が終わりを迎え、もうすぐ桜の季節がやってきます。

子どもたちは、ホールでリズムやボール遊びをしながら身体づくり。自分の身体や道具を使う感覚をみんなで楽しく経験しました。放課後等デイのみんなも「ポカポカデイ」の活動で“温かい”おやつ等を通して身体を温めました。新年度に向けて、心も身体も準備はばっちりです！それでは、今月のつうしんをお届けします。

みんな、ありがとう

3月の予定

＜児　童＞　19日（火）洛陽保育園との交流
（室内遊び／10：30～11：30）
22日（金）、27日（水）、28日（木）卒園を祝う会
※引き続き、後期個別懇談を行います

＜放デイ＞　９日（土）パラスポーツのつどい（14：30～16：00）
29日（金）旅立ち会（高校３年生の卒業を祝う会）
30日（土）春のピクニック
（宝ヶ池公園／10：00～15：00）

＜児童・放デイ＞　19日（火）避難訓練（14：00～14：45）
25日（月）義眼相談（カジヤマプロテーゼ協力）

＜職員関係＞　14日（木）三者連絡会（16：30～17：30）
（盲学校・アイリス教室・あいあい教室）

＜実習生の受け入れ＞福岡市立心身障がい福祉センター（あいあいセンター）、佛教大学、新潟大学より各１名の実習・研修生を受け入れます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

★ホームページ版「あいあいつうしん」がご覧になれます★
京都ライトハウスのホームページ内、あいあい教室のページから「あいあいつうしんWeb版」のコンテンツにアクセスしてください。写真がカラーで掲載されています。Web版もぜひご覧ください！

児童　ともだち紹介

３歳だよ

A さんの巻

Aは、生後８ヵ月のときに脳症になり、その後遺症としてててんかん発作と発達障がいを併発しています。

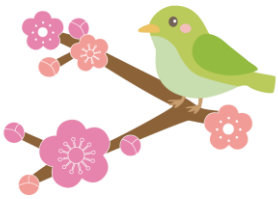
てんかん発作が出始めた頃は両眼が左に寄る現象が起こり、次第に暖色系の色（特に赤、オレンジ）をじっと見ると両手が上に上がり、顔を床やおもちゃに強打する発作に変わりました。

視野も狭いのか、足元のおもちゃにすら気づかず、つまずいて転ぶこともしばしば…何もかも不安だらけだったときに、お友だちからあいあい教室のことを教えてもらい通い始めました。Aも数回通ううちにあいあい教室＝楽しい場所と認識し、周りの環境が整うと、物をしっかり見て遊べることも増えてきて、Aの変化を見るのが毎回嬉しく思います。今は眼科の検査で「遠視」と診断されたので、毎日眼鏡をかけるところから練習しています。

ここに通うと保護者の方々や先生方にいろんなアドバイスをもらえたり励まされたり、お友だちと仲良く遊べたりと、いつも親子共々通うのが楽しみになっております。これからもお世話になりたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

年長児　保護者の皆様からのメッセージ

今月も年長さんの保護者の皆さんから卒園に向けて想いのこもったメッセージを寄せていただきました。お忙しい中どうもありがとうございました。



その５　Ｄ さん

Dが、全盲であることがわかり、初めてあいあい教室を訪れたのは2018年2月のことでした。この教室で楽しそうに過ごす子どもたちを見て、「いつまでも悲しんでばかりはいられないな」と思ったことを今でも覚えています。

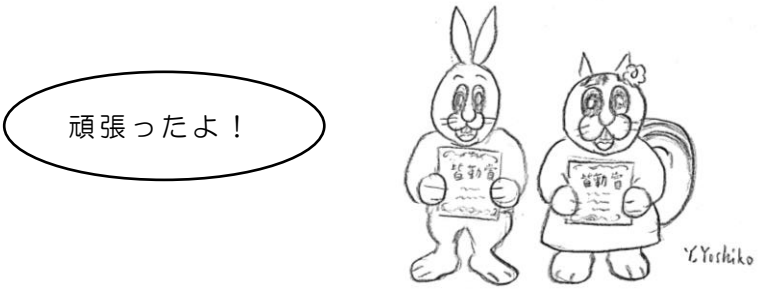
通い始めの頃はお友だちの手が少し触れるだけでも、すぐに手を引っ込めたり、なかなか自分で動いたりできませんでしたが、先生方のお力をお借りして、自分でできることを少しずつ増やしていくことができました。あいあい教室には目が見えない、見えにくい子どもが楽しめる遊びの引き出しがたくさんあり、お友だちと工夫された療育を受けることができました。朝の会、親子でのリズム、パラバルーン、アンパンマン紙芝居、夏場のプール、バスに乗って行った遠足、先生方が劇やダンスで楽しませてくれたクリスマス会など、ひとつひとつが幼児期の大切な思い出です。

どんなに発達がゆっくりでも、丁寧に繰り返し、根気よく指導してくださる先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

長い間お休みした後でも温かく迎えてくださり、本当にありがとうございました。

この教室を通して、たくさんの子どもたちや保護者の方、卒園生の方などに出会えたことは今後の人生において大切な宝物です。

同じ時間を過ごしていただいた皆さん、ありがとうございました。



その６　Ｊさん

あいあいさんには、コロナが流行しだした年中の歳からお世話になりました。息子は保育園に通っておりましたが、コロナが流行しているせいで、行事は一切なし、団体行動も制限される中でした。

そんな時でも、あいあいの先生方はいろんなことを工夫していただき、息子にわかりやすく、いろいろな体験を経験させていただきました。

息子に合わせた支援をしてくださり、暖かく見守っていただけたこと、心から感謝の気持ちでいっぱいでございます。いよいよ息子も春から小学生になります。こちらで教えていただいた経験を踏まえ、一緒に頑張っていきたいと思っています。

短い間でしたが、皆様本当にありがとうございました。

その7　Ｋさん

Ｋは出産時に貧血状態で生まれ、１歳半の頃に脳性麻痺と診断されました。下肢に麻痺があり、特に右側の麻痺が強いです。目の方も、左右の視力差があり定期的に診察していました。医師の指示で、自宅や保育所でアイパッチをさせたりしていました。その間もあいあい教室に相談してみようかと思いつつ、なかなか行動できませんでした。ただ、就学活動をしている中入学後の学習等が心配だったので、相談させていただきました。そして、2023年10月から通うことになりました。そんな時期に相談したにも関わらず、とても親身にお話を聞いていただいて、受け入れてくださって、本当に感謝しています。Ｋの保育所探しの際に、話を聞いてもらえず門前払いされたり、役所の福祉担当の方に相談した時には辛い思いをすることもありましたが、本当に親身になって話しを聞いてくれて、助けてくれる人はたくさんいるんだと思い、本当に嬉しかったです。

また、短い間でしたが、こんな私達を優しく受け入れてくださった保護者の方とお友達には感謝しかありません。本当にありがとうございました。Ｋもあいあいに行くのを楽しみにしていて、素敵な思い出ができたと思います。また、どこかで会うことがあると思います。今後ともよろしくお願いいたします。

素敵な音楽、届けます

～入退職のお知らせ～

３月末で藤崎未有（みゆ）、加藤貴久子、鈴木邦江が退職いたします。
３月から木全（きまた）さおりが入職しました。

【ご寄付・ご寄贈いただきありがとうございました】

～皆さまからの温かいご支援、心より感謝申し上げます～

・点友会様より　拡大写本４冊「まめまめくん」他
・匿名の方より　点訳絵本１冊「ひとまねこざる」

＊あいあい職員 一言コーナー＊ 遠い昔、「還暦祝いはちゃんちゃんこが欲しい」と話していた母。贈ってみると「そんなこと言ったか？」。記憶って残酷ですね（涙）。木村

編集人 古川 千鶴 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 社会福祉法人 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室 Tel：075-462-4462